

# いにいの木・ナ 平方幸子

題字 梅の木寮

2015年（平成27年）3月20日発行

第394号

發行責任者

いこいの村聴覚言語障害センター

420

所長 柴田 造志

所長 素朴 治志  
（）にいの村編集委

元629-1242

綾部市土倉名畑町久瀬谷2番地

TEI (0773) 46-0101

TEL (0773) 46-0101  
FAX (0773) 46-0610

FAX (877) 48-8818  
<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>

綾東幼稚園との交流。  
元気をありがとう！



## 共につどい 楽しんで

～綾部東部ティーサービスセンター～



クリスマスケーキ作り。  
手作りのケーキの前でニッコリ…

晴天に恵まれた一日でした。  
みんなで「ハイチーズ！」

「いじの村のアイサービスに来てるおかげで色々な経験ができるって最高やわ」  
「さあ、来年度も、共にお楽しみに!」

昭和十九年は「初詣」や「新年会」とつづり、「節分会」ではコアルな鬼と福娘に感いつつ、の内には「ケーキバイキング」でお楽しみいただきました。

「絶東銀河園とのせ作を起した交流」では子どもたちに元気をもとい、「クリスマスケーキ作り」では自分特製のケー

「秋の遠足」に始まり、「秋の大運動会」で体を動かし、

綾部東部サービスセン

「またいじか!」と思える

梅の木寮短期入所に

長期入所と短期入所の違い

梅の木寮の短期入所

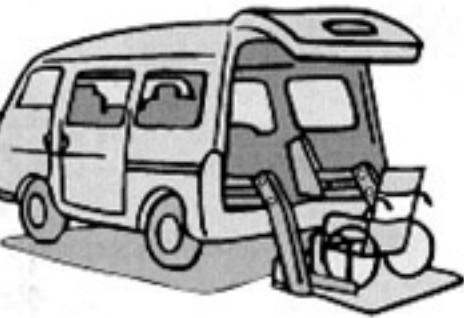
現在、梅の木寮には87人の方に長期入所、14人の方に短期入所(ショートステイ)を利用しています。

短期入所を利用していただいている方には、長期入所の方に比べて、生活が充実した暮らしを作りを目指して、希望に添った取り組みや、外出などを一緒に考えています。

毎日、梅の木寮からお家へお迎えする方、何泊かされる方など利用日数は様々です。

利用する日数分の荷物を力パンに詰めて、泊まりに来ていただきます。現在は長期入所の方、短期入所の方が同じ棟で暮らしていただいています。

「私はすつと」「おるん?」



「〇〇さんかくこんな感じで出合つとは思わんかった」

「ひさしぶりやな~一緒に話そか~」

短期入所の方が来られる

と、このような会話がよく飛び交います。

初めて利用される方は緊張がほぐれ「知つとる人がおつてよかつた」と笑顔が見られます。

一緒に取り組みをしたり、

同窓会のような盛り上がりの反面で、認知症の方の中には、「なんでここに来たんやろ」と、不安で落ち着けない方もあります。「家に帰ります」とカバンを持って玄関に向かわれたり…。そんな時、

「今日、車で一緒にここへ来たんやで、泊めてもらおうな」利用者同士の声掛けに職員は助けられることがあります。



退所の日には、「あんたはい

つまじー!」「おなんや~」

「私は今日帰ります」

「またいじで会いましょうね」

利用回数を重ねることに、

馴染みの関係が出来ていま

す。



空の家のリビングにて

す。

平屋建てで回廊型になつて

いるため、散歩するには十分

適したところです。中庭があり、野菜、花づくりなど楽しめます。自宅でされている仕事や、趣味が生かせる空間になればと思います。



空の家中庭の様子

短期入所専門棟に

現在のユーチュ「空の家」

(14床)を短期入所専門棟に

変更する予定です。そこは、

「安心して過ごしていただけ

るような居場所」を目指していきます。

（いこいの村・梅の木寮  
渡邊美幸）



